

多摩ニュータウンの公園の自治体ごとの 比較

要旨

氏名：池田優太

多摩ニュータウンには、良好な住環境を確保するために緑が豊かで公園が多いという長所がある。さらに、多摩ニュータウンはそれぞれの地域をひとまとめにすることはできないと考える。そこで本研究では、多摩ニュータウンが4つの市にまたがっているためこれを一括りにはできないという筆者の仮説、多摩ニュータウンは公園の数が多いという事実の2つに着目して、多摩ニュータウンの公園について自治体ごとと分け方で比較し考察を行った。

多摩市では、地区ごとに公園が整備されている最中に新たな取り決めが作られたため、地区ごとに機能構成が変化した。八王子市では、多摩市より後に開発された地区が多いことから、その地区に関して多摩ニュータウン開発における諸問題を改善するように計画を見直すことができたため、緑の機能が多様である。多摩ニュータウン域外を含めて公園の計画を立てている点、自治体が主導の構想が公園の計画に反映している点が他市に比べて特徴的である。

この結果、多摩ニュータウンは、公園という観点からひとくくりにできないという結論が得られた。